

# 日医総研ワーキングペーパー

## 「療養病床に関する緊急調査」報告

No. 132

2006年8月29日

日本医師会総合政策研究機構 前田由美子・佐藤和孝・原祐一  
福岡県メディカルセンター保健・福祉・医療研究機構  
福岡県医師会

## 「療養病床に関する緊急調査」報告

前田由美子・佐藤和孝・原祐一

### キーワード

- ◆ 療養病床
- ◆ 診療報酬
- ◆ 転帰
- ◆ 老人保険施設
- ◆ 医療難民・介護難民

### ポイント

- ◆福岡県の医療療養病床入院患者のうち、医療区分1は43.4%であった。
- ◆医療区分1のうち、病状不安定で退院不可能と見られる入院患者は、医療療養病床で34.5%、介護療養病床で33.6%であった。福岡県では22千人（医療区分1～3の合計）の療養病床入院患者がいると推計されるが、少なくとも5千人が医療が必要であるにもかかわらず、退院を迫られる不安がある。すなわち、医療へのフリーアクセスが阻止される。
- ◆在宅可能な患者（医療区分1）は医療療養病床で46.0%、介護療養病床で42.3%であった。しかしこのうち、独居、同居者が仕事・病気・高齢、通院できないといったケースが医療療養病床で65.3%、介護療養病床で75.4%であった。なお、独居者の在宅復帰率は33.2%に止まっていた。
- ◆現状、医療区分1の在宅復帰率は57.0%であった。医療区分2では、35.5%、医療区分3では5.9%であった。今後、療養病床が整備されないとすると、医療区分2の入院患者も退院を迫られるおそれがあり、介護難民を生じかねない。
- ◆また今回の改定は、療養病床のみの有床診療所を赤字に転落させるものであった。最近建替えて、借金を返済し終わっていないと推察される医療機関も多く、療養病床以外の医療提供体制の維持にも影響を与えかねない実態となっている。
- ◆療養病床再編については、附帯決議にもあるように、スピーディーな調査・検証と再見直しが必須である。また同時に、転換支援、患者の退院支援の確実な実施も求めたい。

## 目次

まえがき	3
1. 調査の目的と方法	4
2. 療養病床入院患者の状態	
(1) 医療療養病床における患者分類	4
(2) 在宅医療等の可能性	5
3. 療養病床退院患者の状況	
(1) 退院患者にみる医療区分構成比	8
(2) 退院患者の状態	8
(3) 転帰の状況	10
4. 医療機関経営への影響	
(1) 医業収入への影響	12
(2) 最近の療養病棟改築年	12
(3) 今後の方向性	13
5. まとめ	15
(添付資料)	
「療養病床に関する緊急調査」集計表	集計表 1～22

## まえがき

2006年7月、慢性期入院医療（療養病床）にかかわる診療報酬が大幅に改定され、医療区分・ADL区分によって算定されるようになった。これは療養病床再編の前段である。介護療養病床は2011年度末をもって廃止され、医療療養病床も現在の25万床から15万床に縮小される。

社会保障審議会では、『在宅復帰・在宅生活支援重視型の施設』や『生活重視型の施設』などへの移行等を図るとされた。しかし、福岡県下では2006～2008年度に施設整備計画はなく、行き場を失った介護難民を生じるおそれがある。また医療提供体制の確保にも支障が生じ、結果として患者からさらに受診の機会を剥奪し、医療難民を生むことにもなりかねない。

そこで、第一に、既成事実とはいえ問題の重大性に鑑み再度の見直しを要求すること、第二に今後の地域医療計画や第4次介護保険事業計画策定に資することを目的に、療養病床の見直しが患者動向や医療機関経営等にもたらす影響を調査し、とりまとめた。患者の視点からも医療機関経営の視点からも、悲痛な叫びが發せられていたことは言うまでもない。

今回の療養病床再編は、日本の皆保険制度を崩す蟻の一穴になりかねない。本稿が、再度の見直しに向けた世論喚起になれば幸いである。

なお、福岡県下の医療機関には、診療報酬改定のさなかで多忙の中、アンケート調査にご協力いただいた。この場を借りてお礼申し上げたい。

2006年8月29日

日本医師会総合政策研究機構（日医総研）

前田由美子・佐藤和孝・原祐一

福岡県メディカルセンター保健・福祉・医療研究機構（<sup>いふくけん</sup>医福研）  
福岡県医師会

## 1. 調査の目的と方法

介護療養病床は 2011 年度末をもって廃止され、医療療養病床も現在の 25 万床から 15 万床に縮小される。しかし、この過程で医療が必要な患者まで退院を迫られることになり、医療難民を生じることにならないか。国（厚生労働省）は老健等への移行を想定しているが、福岡県下では 2006～2008 年度に施設整備計画はないため、介護難民をも生じることにならないか。

これらの点を検証し、今後の地域医療計画や第 4 次介護保険計画策定に資することを目的に、療養病床の見直しが患者や医療機関経営にもたらす影響を調査した。

対象は、福岡県下の療養病床を保有する全医療機関（457 医療機関）とし、調査票を郵送して、2006 年 6 月 20 日現在の病床や入院患者の状況、および 2006 年 5 月中に退院した患者の状況を記載してもらった。回答数は 307（回答率 67.2%）であり、ここから、調査日時時点で、すでに療養病床を廃止・転換していた医療機関および回復期リハビリテーション病棟のみの施設を除いた。分析対象医療機関は計 292（一般病院 148、精神病院 11、有床診療所 133）、このうち病床のすべてが療養病床という医療機関が 61（病院 54、有床診療所 7）であった。対象病床数は、全体で 16,536 床（医療療養 11,638 床、介護療養 4,898 床）であった。

## 2. 療養病床入院患者の状態

### （1）医療療養病床における患者分類

医療療養病床における医療区分 1 の患者比率は、病院 42.1%、有床診療所 59.0%、全体で 43.4%であった（表 1）。

中央社会保険医療協議会（以下、中医協）の分類案<sup>1</sup>では医療区分 1 は 50.2%であったが、本調査ではこれより 6.8 ポイント低かった。逆に医療区分 2 は、中医協調査を 10.3 ポイント上回った。福岡県の場合、病院が多く、病院は有床診療所に比べて医療区分の高い患者が多いこと、すでに患者の移動が始まっていることなどが、背景とし

<sup>1</sup> 中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織・慢性期入院医療の包括評価調査分科会「慢性期入院医療実態調査」にもとづく患者分類案、2005 年 11 月 11 日

て推察される。

表1 入院患者の状況（2006年6月20日現在）

1. 本調査

病院（n8,235）

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	10.2%	38.3%	9.4%	
ADL区分2	31.9%			
ADL区分1		10.2%		
計	42.1%	48.5%	9.4%	100.0%

有床診療所（n548）

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	15.0%	17.5%	5.4%	
ADL区分2	44.0%			
ADL区分1		18.2%		
計	59.0%	35.7%	5.4%	100.0%

全体（n8,783）

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	10.6%	36.7%	9.1%	
ADL区分2	32.8%			
ADL区分1		10.8%		
計	43.4%	47.5%	9.1%	100.0%

2. 中央社会保険医療協議会「慢性期入院医療実態調査」にもとづく患者分類案

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	13.9%	30.1%	12.6%	
ADL区分2	36.3%			
ADL区分1		7.2%		
計	50.2%	37.2%	12.6%	100.0%

（2）在宅医療等の可能性

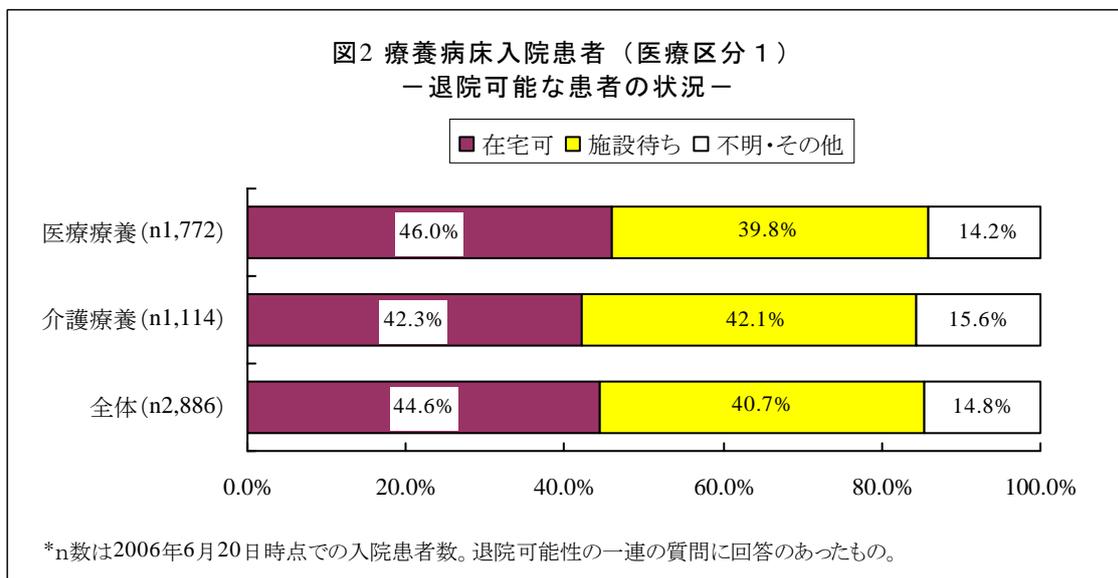
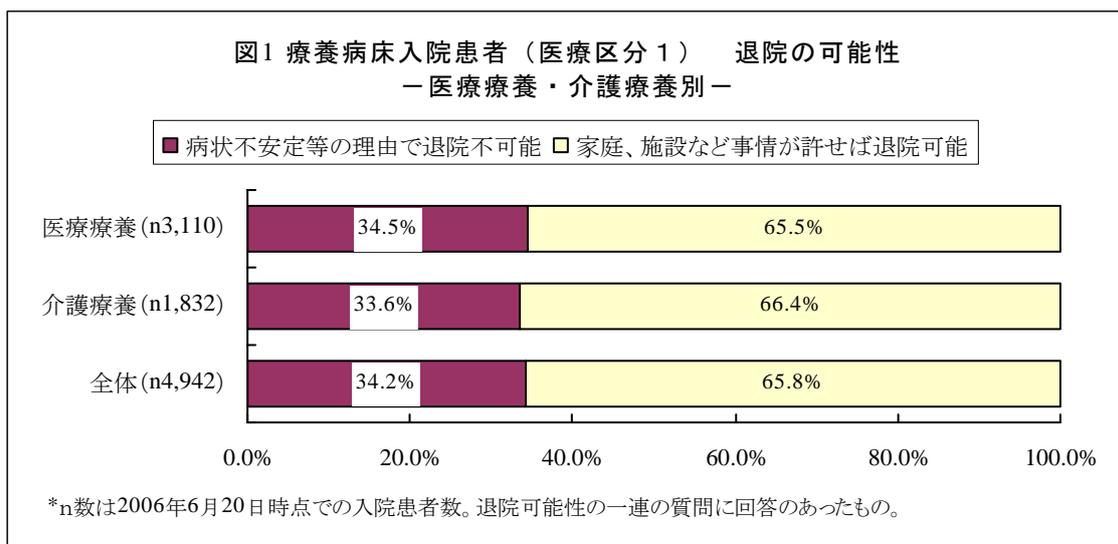
国は、医療区分1の患者を中心に、在宅あるいは老健へ移行させる方針である。そこで、医療区分1の入院患者の退院可能性について、介護療養病床もあわせて質問した。なお、以下は一連の質問に回答のあったものを集計している。

医療区分1であっても、病状不安定等の理由で退院不可能とされている患者が、医療療養病床34.5%、介護療養病床33.6%、全体で34.2%であった（図1）。

医療区分1の患者は、医療療養病床入院患者全体の43.4%であることから、15.0%

(43.4%×34.5%) が、病状不安定のまま退院せざるを得ないことになる。

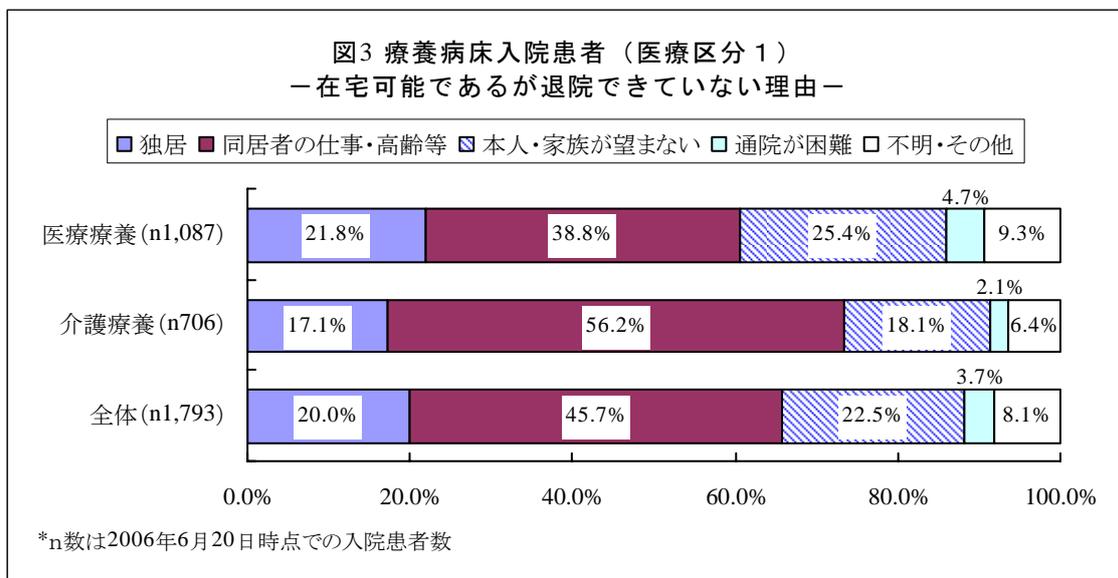
退院可能な患者のうち、在宅医療が可能な患者は 44.6%、施設があれば退院可能な患者は 40.7%であった (図 2)。医療療養病床と介護療養病床の差はほとんどみられなかった。



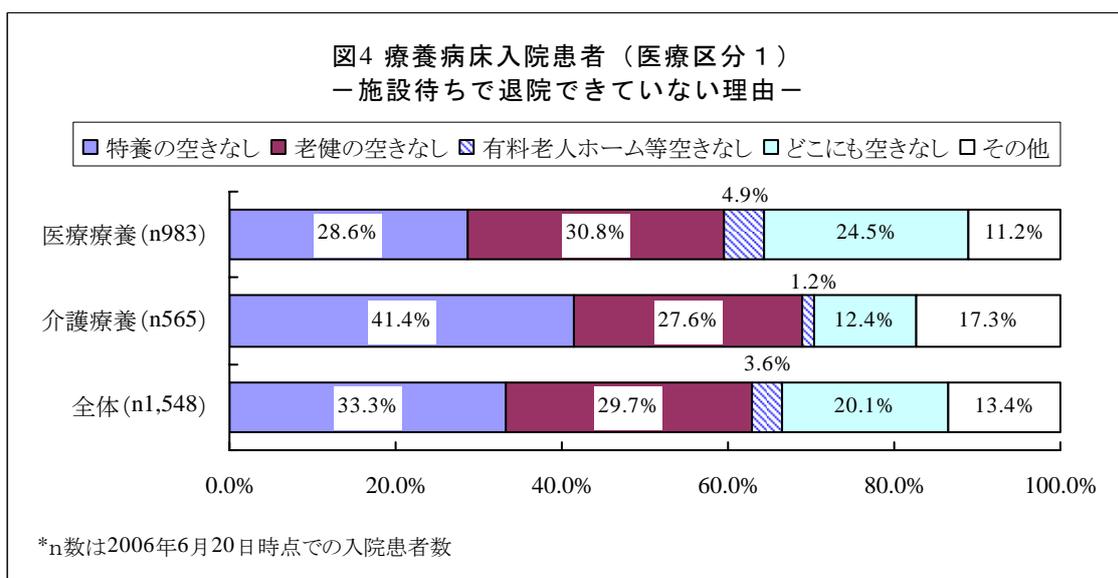
在宅医療が可能であるが、実際には退院していない患者の理由別では、同居者の仕事・病気・高齢・育児等が、医療療養病床入院患者の 38.8%、介護療養病床入院患者の 56.2%を占めた (図 3)。在宅医療は同居者への支援も非常に重要であるといえる。

本人または家族が在宅を希望していないケースも、医療療養病床入院患者の 25.4%、

介護療養病床入院患者の 18.1%と二番目に多い理由である。今般の医療制度改革は国民の合意をじゅうぶん得ずに断行されたが、すぐさま壁にぶち当たるであろうことが容易に想像できる。



施設待ちで退院不可能になっている入院患者の待ち状況は、介護老人福祉施設（以下、特養）待ちが 33.3%、介護老人保健施設（以下、老健）待ちが 29.7%であった（図4）。国は対応施設として老健を予定しているが、特養のニーズのほうが多い現実であった。

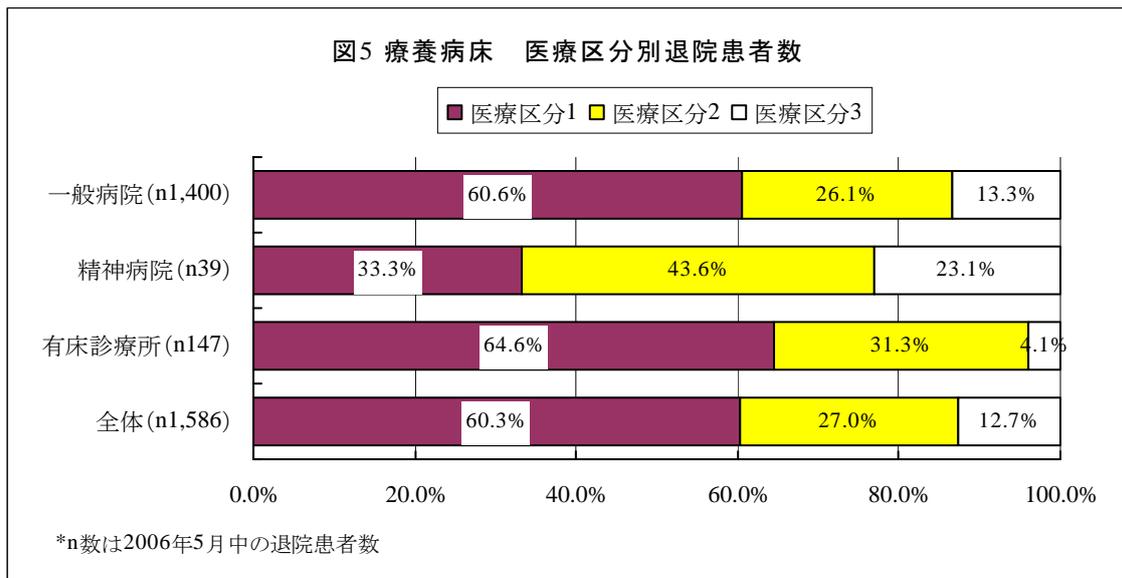


### 3. 療養病床退院患者の状況

2006年5月中に、医療療養および介護療養病床を退院した患者の転帰先等を調査した。患者数は1,897人であった。以下、質問項目によっては未記入部分があるため、分析対象患者数は項目によって異なる。

#### (1) 退院患者にみる医療区分構成比

全体では、退院患者のうち医療区分1が60.3%、医療区分2が27.0%、医療区分3が12.7%であった(図5)。一般病院、有床診療所の医療区分1の比率は大差なかった。精神病院は医療区分2以上が7割近くを占めた。また一般病院では、医療区分3が13.3%であったが、有床診療所では4.1%であった。



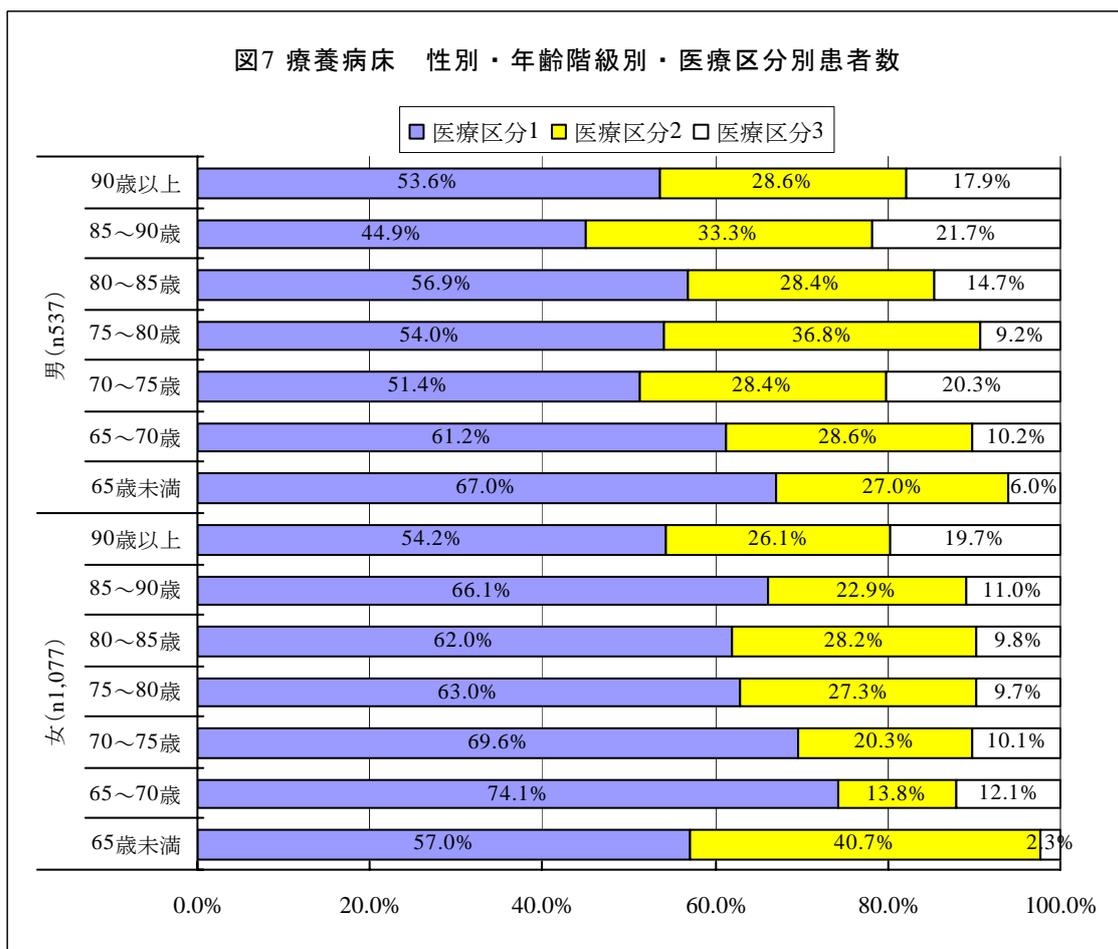
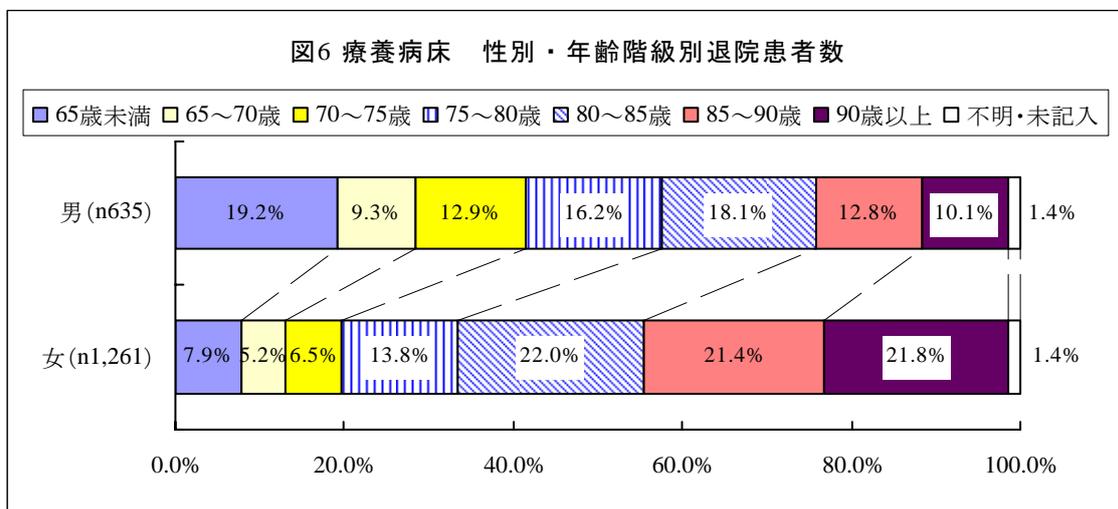
#### (2) 退院患者の状態

2006年5月中の退院患者は、男性635人、女性1,261人、計1,896人(性別記入なし除く)で、女性が7割近くを占めた。平均寿命の男女差もあり、男性では80歳未満が57.6%であったが、女性では逆に80歳以上が65.2%であった(図6)。

また、同じ年齢階級であれば、おおむね女性より男性の医療区分が高い傾向が見られた(図7)。したがって、女性患者のほうが年齢は高いが、男性患者のほうが医療区

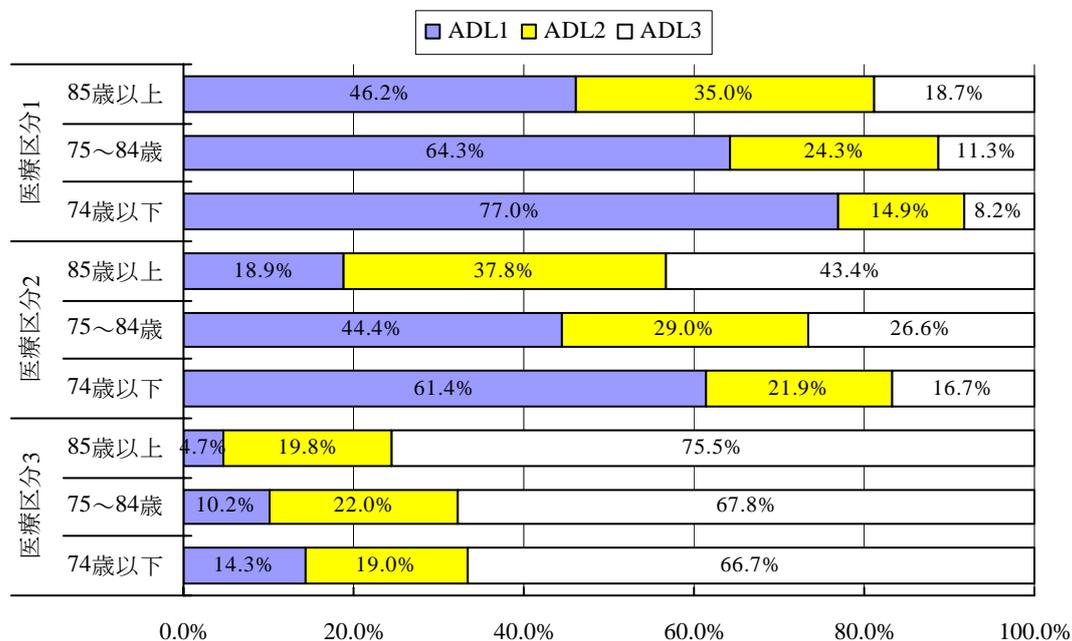
分が高いという実態であった。

また ADL 区分についても、年齢および医療区分の高さと相関が見られた (図 8)。



\*n 数は 2006 年 5 月中の退院患者数

図8 療養病床 医療区分別・年齢階級別・ADL区分別退院患者数  
(n1,578)



\*n数は2006年5月中の退院患者数

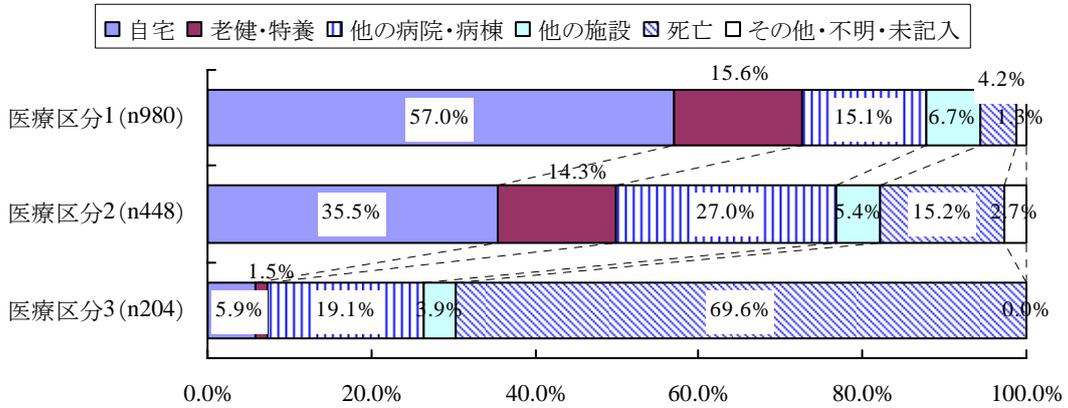
### (3) 転帰の状況

医療区分1であっても、在宅復帰できたのは57.0%でしかなかった。医療区分3では69.6%が療養病床で死を迎えられていた(図9)。

施設に転帰した患者の内訳を見ると、老健53.0%、特養15.5%と、特養の比率も決して低くはなかった(図10)。

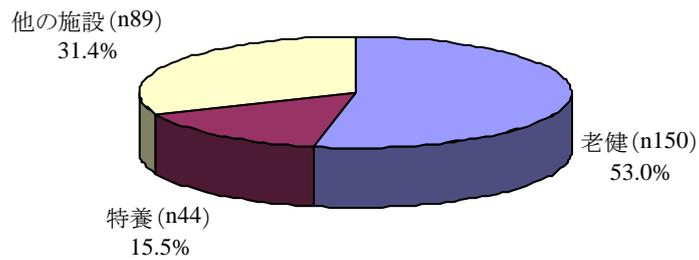
家族と同居している患者のうちの在宅復帰率は51.1%であったが、独居の場合は33.2%に止まった(図11)。

図9 療養病床 医療区分別・転帰の状況別退院患者数



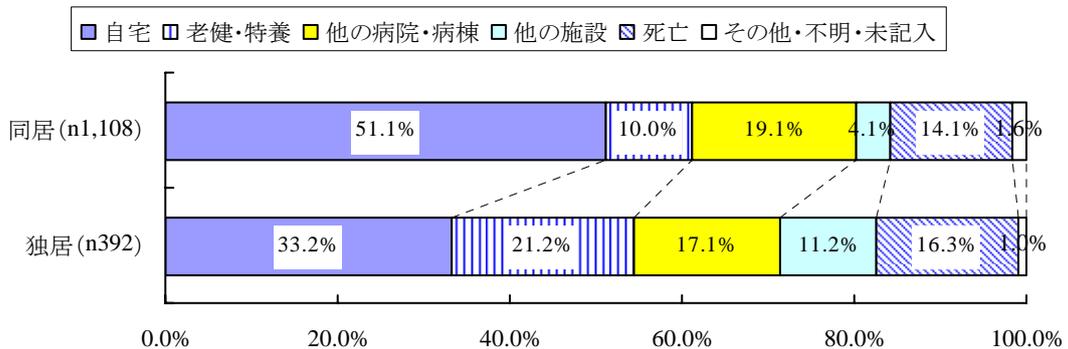
\*n数は2006年5月中の退院患者数。他の施設には、老健・特養など特段の記載のなかったものを含む。

図10 療養病床 施設に転帰した患者の施設別構成比



\*n数は2006年5月中の退院患者数。他の施設には、老健・特養など特段の記載のなかったものを含む。

図11 療養病床 同居独居別・転帰の状況別退院患者数



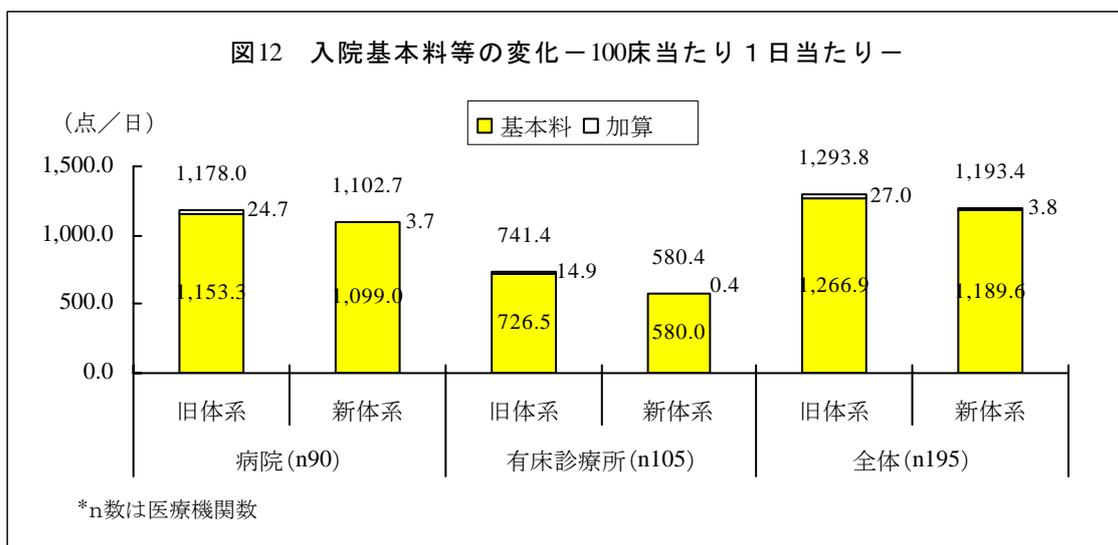
\*n数は2006年5月中の退院患者数。他の施設には、老健・特養など特段の記載のなかったものを含む。

## 4. 医療機関経営への影響

### (1) 医業収入への影響

2006年6月までの入院基本料等別患者数、2006年7月以降の医療区分別患者数等から医療療養病床にかかわる総点数の変化を試算した。100床当たり1日当たり点数は、基本料ベースで、病院が1,153.3点から1,099.0点と▲4.7%、有床診療所が726.5点から580.0点と▲20.2%と推計された(図12)。

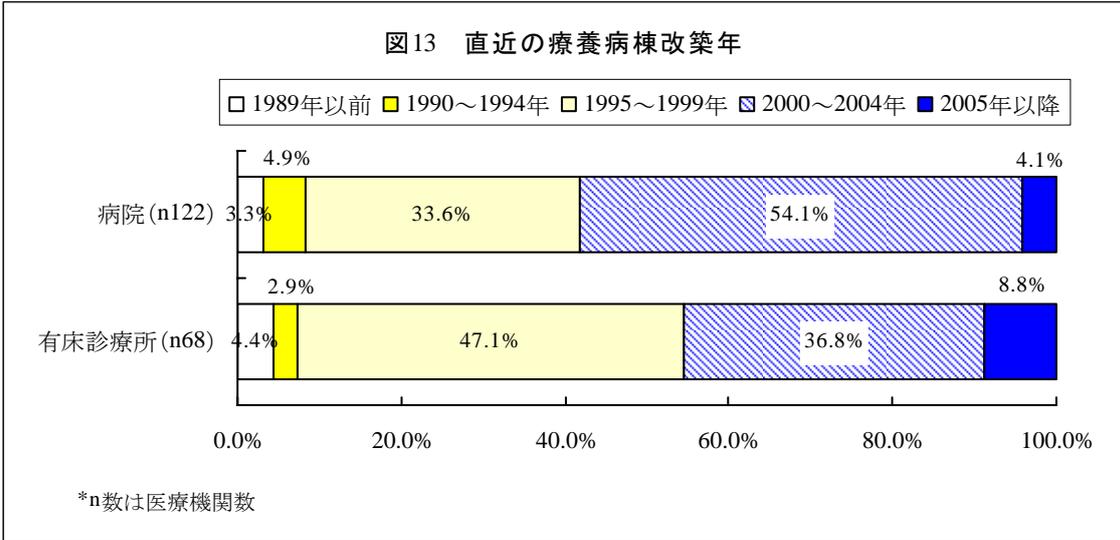
直近の医療経済実態調査報告によれば、有床診療所の損益分岐点比率は74.1%であった<sup>2</sup>。これは、収入が25.9%減れば赤字になることを意味しているので、今回の改定は、療養病床のみの有床診療所を赤字に転落させるものであったといえる。



### (2) 最近の療養病棟改築年

病院の58.2%、有床診療所の45.6%が、2000年以降に療養病棟の改築を行っている(図13)。現在までに6年未満しか経過しておらず、借入れを行った場合には、ほとんど返済できていないものと推察される。

<sup>2</sup> 中央社会保険医療協議会「第15回医療経済実態調査の報告－平成17年6月実施－」より、個人立有床診療所を除く平均値。平成15年6月実施調査では損益分岐点比率は89.4%であった。

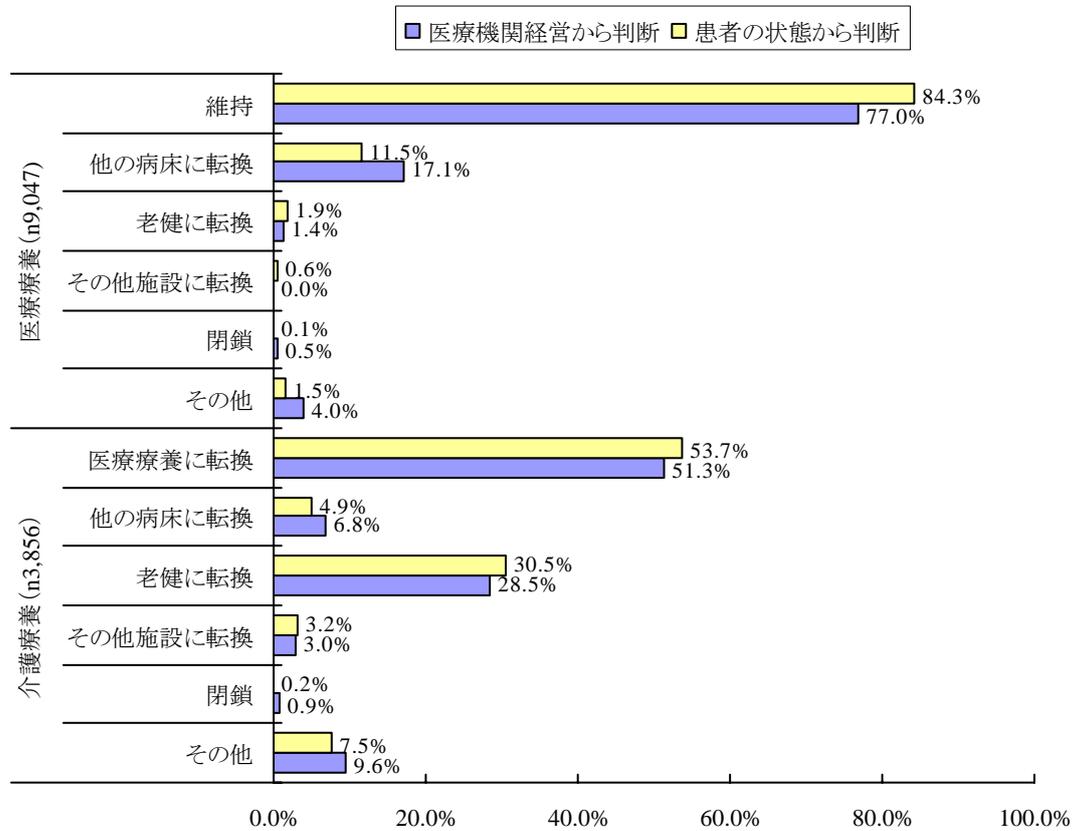


### (3) 今後の方向性

現状の医療療養病床の84.3%は、患者のためには今後も維持すべきと考えられている。しかし、医療機関経営面から判断すると、17.1%は他の病床に転換、0.5%は閉鎖して、維持できるのは77.0%としか考えられていない。

介護療養病床については、患者の状態からは30.5%が老健に転換すべきと考えられているが、実際経営面から老健に転換するという病床は28.5%とやや少なくなる。医療機関が老健経営をすることが困難ととらえられているようである。

図14 今後の方向性（病床数の比率）



\*n数は病床数。各医療機関に「何床を維持し、何床を閉鎖するか」という聞き方をした。

## 5. まとめ

今回の調査結果から、療養病床の再編が、医療・介護へのフリーアクセスを阻止するものであるという点がじゅうぶん検証できたと考える。

### (1) 医療へのフリーアクセスの阻止

福岡県全体では約 22 千人の療養病床入院患者がいると推計される。国は療養病床を 6 割削減しようとしているので、約 13.2 千人が退院を迫られることになる。しかし、うち 4.5 千人（3 人に 1 人）は、病状不安定で医療が必要な人であり、医療を保障されないまま退院に追いやられるおそれがある。すなわち、医療へのフリーアクセスの権利が剥奪される。

また今回の改定は、療養病床のみの有床診療所を赤字に転落させるインパクトがあった。療養病棟の改築から数年しか経っていない医療機関も多く、借金返済に困窮するところも出てくるであろう。この結果、療養病床以外の医療提供体制の崩壊を招きかねず、国民のアクセスポイントが失われかねない。

### (2) 介護へのフリーアクセスの阻止

福岡県において退院を迫られる 13.2 千人のうち 3.9 千人は、事情が許せば在宅医療が可能である。しかし、うち 2.7 千人（1.4 人に 1 人）は、独居または同居者の仕事・病気・高齢・育児等のために介護が困難か、通院が困難な人である。たとえば家族に仕事を辞めさせてまで介護を強いることになりかねない。独居の方は、現状では、33.2%しか在宅復帰できておらず、介護施設整備や介護サービスの確保が急務である。しかし、福岡県では当面 3 年間は施設整備計画がなく、介護難民をも生じかねない。

在宅可能な 3.9 千人のうち、残りの 0.9 千人は、本人または家族が希望しないため退院していない。この場合に、在宅を強要することは、本人および家族に少なくない介護面での負荷、精神的苦痛を与えるであろう。

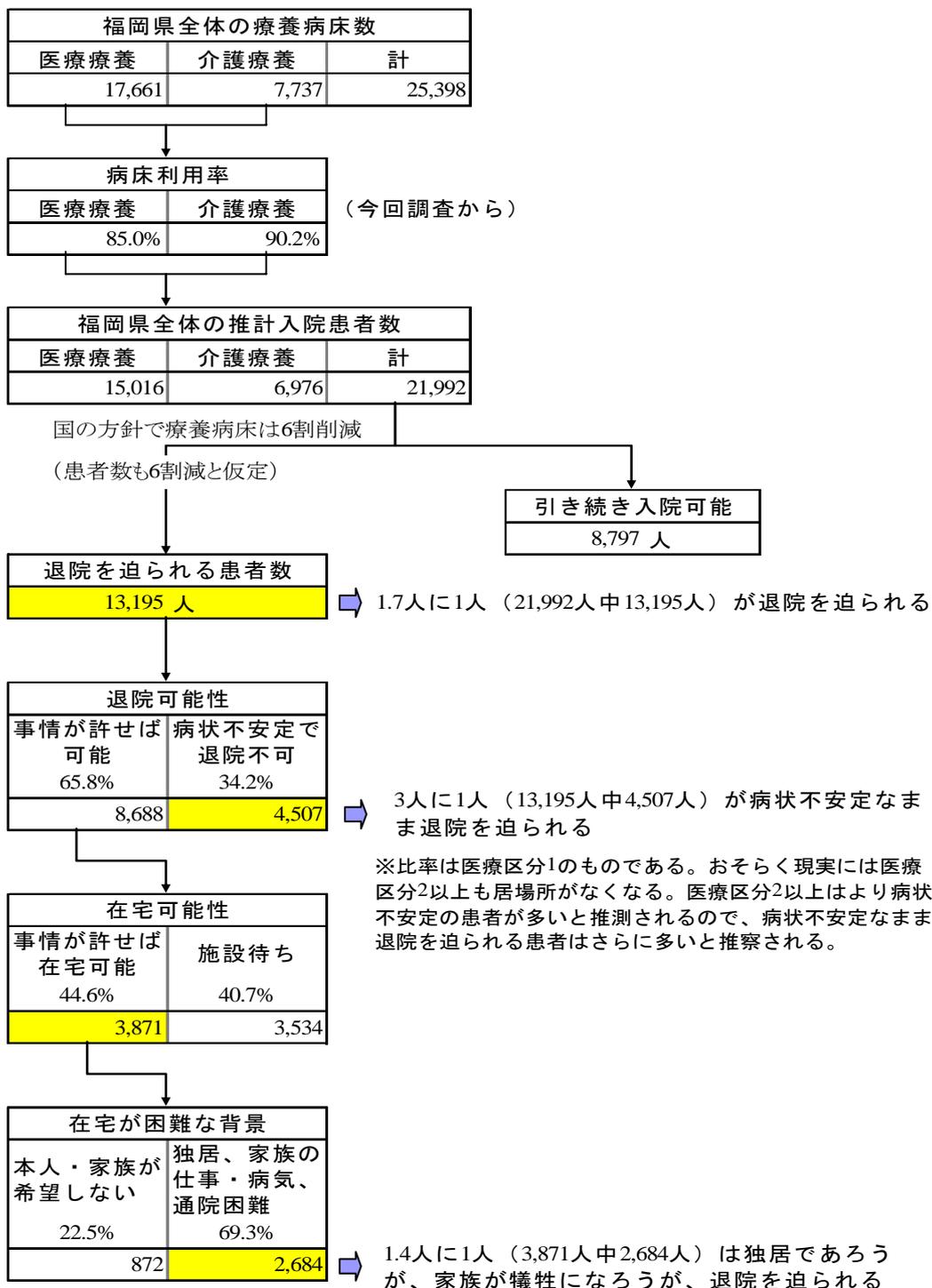
以上のことから、附帯決議<sup>3</sup>にもあるように、スピーディーな調査・検証と再見直し

---

<sup>3</sup> 参議院厚生労働委員会「健康保険法等の一部を改正する法律案及び良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議」2006年6月13日

が必須である。また同時に、転換支援、患者の退院支援の確実な実施も求めたい。

図15 福岡県における療養病床入院患者の行く末



## 「療養病床に関する緊急調査」集計表

1. 基本情報	1
2. 「医療療養病床」入院患者分類	2
3. 入院基本料への影響	3
(参考) 新旧点数表	4
4. 患者の状態	5
5. 療養病床の維持、転換等について	9
6. 退院患者の状況	11
7. 転帰の状況	20

## 1. 基本情報

### 回答医療機関

	依頼数	回答数	回答率
病院	241	163	67.6%
有床診	216	144	66.7%
計	457	307	67.2%

### 分析対象の構成比

※回復期リハ病棟のみの病院、恒常的に入院患者なしの有床診療所を除く

	回答数	構成比
一般病院	148	50.7%
精神病院	11	3.8%
有床診	133	45.5%
計	292	100.0%

### 総病床数

	回答数	病床数						計
		一般	療養		精神	その他		
			医療	介護				
一般病院	148	8,906	14,801	10,277	4,524	508	168	24,383
精神病院	11	0	612	468	144	2,241	0	2,853
有床診	133	1,198	1,123	893	230	0	6	2,327
計	292	10,104	16,536	11,638	4,898	2,749	174	29,563

### 1医療機関当たり平均病床数

	回答数	病床数						計
		一般	療養		精神	その他		
			医療	介護				
一般病院	148	60.6	100.0	69.4	31.2	3.5	1.1	165.6
精神病院	11	0.0	55.6	42.5	13.1	203.7	0.0	259.4
有床診	133	9.0	8.4	6.7	1.8	0.0	0.0	17.5

※療養病床は、医療・介護の内訳の記入がなかったところがあるので、合計と合わない

### 病床数のすべてが療養病床の医療機関

	施設数	比率
一般病院	54	36.5%
精神病院	0	0.0%
有床診	7	5.3%

### 直近の療養病棟の建替または改築時期

	1989年 以前	1990～ 1994	1995～ 1999	2000～ 2004	2005年 以降	計
一般病院	4	6	37	60	5	112
精神病院	0	0	4	6	0	10
有床診	3	2	32	25	6	68

## 2. 「医療療養病床」入院患者分類（2006年6月20日現在）

### 病院 患者数

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	872	3,272	807	
ADL区分2	2,722			
ADL区分1		870		
計	3,594	4,142	807	8,543

### 病院 構成比

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	10.2%	38.3%	9.4%	
ADL区分2	31.9%			
ADL区分1		10.2%		
計	42.1%	48.5%	9.4%	100.0%

### 有床診療所 患者数

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	106	124	38	
ADL区分2	312			
ADL区分1		129		
計	418	253	38	709

### 有床診療所 構成比

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	15.0%	17.5%	5.4%	
ADL区分2	44.0%			
ADL区分1		18.2%		
計	59.0%	35.7%	5.4%	100.0%

### 全体 患者数

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	978	3,396	845	
ADL区分2	3,034			
ADL区分1		999		
計	4,012	4,395	845	9,252

### 全体 構成比

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	10.6%	36.7%	9.1%	
ADL区分2	32.8%			
ADL区分1		10.8%		
計	43.4%	47.5%	9.1%	100.0%

### 3. 入院基本料への影響

調査対象医療機関1日当たり総点数

	医療機関数	医療療養 病床数	入院基本料			特別入院基本料、認知機能障害加算 を加えた場合の点数		
			旧体系	新体系	増減	旧体系	新体系	増減
病院	90	4,787	5,521,002	5,260,770	-4.7%	5,639,042	5,278,531	-6.4%
有床診	105	748	543,439	433,832	-20.2%	554,599	434,117	-21.7%
計	195	5,535	6,064,441	5,694,602	-6.1%	6,193,641	5,712,648	-7.8%

100床当たり1日当たり点数

	入院基本料			加算上乘せ		
	旧体系	新体系	増減	旧体系	新体系	増減
病院	1,153.3	1,099.0	-4.7%	1,178.0	1,102.7	-6.4%
有床診	726.5	580.0	-20.2%	741.4	580.4	-21.7%
計	1,266.9	1,189.6	-6.1%	1,293.8	1,193.4	-7.8%

点数表に患者数をかけて計算した(巻末点数表参考)

老人・若人の記載のないものは老人で計算した、

旧体系の加算1～4等の選択のないものは加算2で計算した。

回復期リハビリテーション病棟を含む病院、特殊疾患療養病棟が混在する病院は対象外とした。

(参考) 新旧点数表

旧体系

	若人	老人
① 療養病棟入院基本料1	1,187	1,130
② " (療養環境加算1)	1,319	1,262
② " (療養環境加算2)	1,302	1,245
② " (療養環境加算3)	1,277	1,220
② " (療養環境加算4)	1,217	1,160
③ 療養病棟入院基本料2	1,117	1,060
④ " (療養環境加算1)	1,249	1,192
④ " (療養環境加算2)	1,232	1,175
④ " (療養環境加算3)	1,207	1,150
④ " (療養環境加算4)	1,147	1,090
⑤ 有床診療所療養病床入院基本料	801	783
⑥ " (療養環境加算1)	901	883
⑥ " (療養環境加算2)	841	823
⑦ 特殊疾患療養病棟入院料1	1,943	1,943
⑧ 特殊疾患療養病棟入院料2	1,570	1,570
⑨ 回復期リハビリテーション病棟入院料	1,680	1,680

新体系

	病院			診療所		
	区分1	区分2	区分3	区分1	区分2	区分3
ADL3	885	1,344	1,740	602	871	975
ADL3加算1	1,017	1,476	1,872	702	971	1,075
ADL3加算2	1,000	1,459	1,855	642	911	1,015
ADL3加算3	975	1,434	1,830			
ADL3加算4	915	1,374	1,770			
ADL2	764			520		
ADL2加算1	896			620		
ADL2加算2	879			560		
ADL2加算3	854					
ADL2加算4	794					
ADL1		1,220			764	
ADL1加算1		1,352			864	
ADL1加算2		1,335			804	
ADL1加算3		1,310				
ADL1加算4		1,250				

#### 4. 患者の状態（2006年6月20日の入院患者）

##### (1) 入院患者数

入院患者数(2006年6月20日現在)・・・4(1)～(3)がすべて記入されているところのみ

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
①入院患者数	8,235	3,900	12,135	548	114	662
②(再掲)うち医療区分1	2,794	2,398	5,192	320	62	382
	全体					
	医療療養	介護療養	計			
入院患者数	8,783	4,014	12,797			
(再掲)うち医療区分1	3,114	2,460	5,574			

##### 医療区分1の比率

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
医療区分1	33.9%	61.5%	42.8%	58.4%	54.4%	57.7%
	全体					
	医療療養	介護療養	計			
医療区分1	35.5%	61.3%	43.6%			

##### (2) 退院可能性(医療区分1のみ)

入院患者数(2006年6月20日現在)・・・4(1)～(3)がすべて記入されているところのみ

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
病状不安定等の理由で退院不可能	926	591	1,517	147	24	171
家庭、施設など事情が許せば退院可能	1,843	1,187	3,030	194	30	224
計	2,769	1,778	4,547	341	54	395
	全体					
	医療療養	介護療養	計			
病状不安定等の理由で退院不可能	1,073	615	1,688			
家庭、施設など事情が許せば退院可能	2,037	1,217	3,254			
計	3,110	1,832	4,942			

##### 構成比

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
病状不安定等の理由で退院不可能	33.4%	33.2%	33.4%	43.1%	44.4%	43.3%
家庭、施設など事情が許せば退院可能	66.6%	66.8%	66.6%	56.9%	55.6%	56.7%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	全体					
	医療療養	介護療養	計			
病状不安定等の理由で退院不可能	34.5%	33.6%	34.2%			
家庭、施設など事情が許せば退院可能	65.5%	66.4%	65.8%			
計	100.0%	100.0%	100.0%			

#### 4. 患者の状態（2006年6月20日の入院患者）

(3) 退院可能な患者の方向性(医療区分1のみ)

入院患者数(2006年6月20日現在)・・・4(1)～(3)がすべて記入されているところのみ

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
在宅が可能	676	458	1,134	139	13	152
施設待ち	680	465	1,145	25	4	29
不明・その他	242	166	408	10	8	18
計	1,598	1,089	2,687	174	25	199

	全体		
	医療療養	介護療養	計
在宅が可能	815	471	1,286
施設待ち	705	469	1,174
不明・その他	252	174	426
計	1,772	1,114	2,886

構成比

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
在宅が可能	42.3%	42.1%	42.2%	79.9%	52.0%	76.4%
施設待ち	42.6%	42.7%	42.6%	14.4%	16.0%	14.6%
不明・その他	15.1%	15.2%	15.2%	5.7%	32.0%	9.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	全体		
	医療療養	介護療養	計
在宅が可能	46.0%	42.3%	44.6%
施設待ち	39.8%	42.1%	40.7%
不明・その他	14.2%	15.6%	14.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%

#### 4. 患者の状態（2006年6月20日の入院患者）

(4) 在宅医療可であるが、退院していない理由（医療区分1のみ）

入院患者数（2006年6月20日現在）

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
独居のため	190	112	302	47	9	56
同居者の仕事・病気・高齢・育児等のため介護できない	362	387	749	60	10	70
介護可能な同居者はいるが、本人または家族が在宅を希望していない	239	121	360	37	7	44
在宅そのものは可能かと思われるが、通院が困難	38	13	51	13	2	15
不明・その他	79	45	124	22	0	22
計	908	678	1,586	179	28	207

	全体		
	医療療養	介護療養	計
独居のため	237	121	358
同居者の仕事・病気・高齢・育児等のため介護できない	422	397	819
介護可能な同居者はいるが、本人または家族が在宅を希望していない	276	128	404
在宅そのものは可能かと思われるが、通院が困難	51	15	66
不明・その他	101	45	146
計	1,087	706	1,793

構成比

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
独居のため	20.9%	16.5%	19.0%	26.3%	32.1%	27.1%
同居者の仕事・病気・高齢・育児等のため介護できない	39.9%	57.1%	47.2%	33.5%	35.7%	33.8%
介護可能な同居者はいるが、本人または家族が在宅を希望していない	26.3%	17.8%	22.7%	20.7%	25.0%	21.3%
在宅そのものは可能かと思われるが、通院が困難	4.2%	1.9%	3.2%	7.3%	7.1%	7.2%
不明・その他	8.7%	6.6%	7.8%	12.3%	0.0%	10.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	全体		
	医療療養	介護療養	計
独居のため	21.8%	17.1%	20.0%
同居者の仕事・病気・高齢・育児等のため介護できない	38.8%	56.2%	45.7%
介護可能な同居者はいるが、本人または家族が在宅を希望していない	25.4%	18.1%	22.5%
在宅そのものは可能かと思われるが、通院が困難	4.7%	2.1%	3.7%
不明・その他	9.3%	6.4%	8.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%

#### 4. 患者の状態（2006年6月20日の入院患者）

(5)施設に退院可であるが、退院していない理由(医療区分1のみ)

入院患者数(2006年6月20日現在)

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
特養の空きがない	266	230	496	15	4	19
老健の空きがない	294	156	450	9	0	9
有料老人ホーム等ケア対応住宅の空きがない	46	7	53	2	0	2
施設にはこだわっていないが、どこにも空きがない	228	70	298	13	0	13
その他	96	96	192	14	2	16
計	930	559	1,489	53	6	59

	全体		
	医療療養	介護療養	計
特養の空きがない	281	234	515
老健の空きがない	303	156	459
有料老人ホーム等ケア対応住宅の空きがない	48	7	55
施設にはこだわっていないが、どこにも空きがない	241	70	311
その他	110	98	208
計	983	565	1,548

構成比

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
特養の空きがない	28.6%	41.1%	33.3%	28.3%	66.7%	32.2%
老健の空きがない	31.6%	27.9%	30.2%	17.0%	0.0%	15.3%
有料老人ホーム等ケア対応住宅の空きがない	4.9%	1.3%	3.6%	3.8%	0.0%	3.4%
施設にはこだわっていないが、どこにも空きがない	24.5%	12.5%	20.0%	24.5%	0.0%	22.0%
その他	10.3%	17.2%	12.9%	26.4%	33.3%	27.1%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	全体		
	医療療養	介護療養	計
特養の空きがない	28.6%	41.4%	33.3%
老健の空きがない	30.8%	27.6%	29.7%
有料老人ホーム等ケア対応住宅の空きがない	4.9%	1.2%	3.6%
施設にはこだわっていないが、どこにも空きがない	24.5%	12.4%	20.1%
その他	11.2%	17.3%	13.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%

## 5. 療養病床の維持、転換等について

※患者さんにとってのベストは何か、しかし経営的にはどうせざるを得ないかということに分けて質問した

(1) 患者さんの状態から考えた場合

病床数

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	7,115	1,942	9,057	637	155	792
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	975	164	1,139	96	29	125
老人保健施設に転換	161	1,186	1,347	18	4	22
その他の施設に転換	56	123	179	0	0	0
閉鎖	0	0	0	12	6	18
その他	138	288	426	0	6	6
<b>計</b>	<b>8,445</b>	<b>3,703</b>	<b>12,148</b>	<b>763</b>	<b>200</b>	<b>963</b>

	全体		
	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	7,752	2,097	9,849
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	1,071	193	1,264
老人保健施設に転換	179	1,190	1,369
その他の施設に転換	56	123	179
閉鎖	12	6	18
その他	138	294	432
<b>計</b>	<b>9,208</b>	<b>3,903</b>	<b>13,111</b>

構成比

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	84.3%	52.4%	74.6%	83.5%	77.5%	82.2%
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	11.5%	4.4%	9.4%	12.6%	14.5%	13.0%
老人保健施設に転換	1.9%	32.0%	11.1%	2.4%	2.0%	2.3%
その他の施設に転換	0.7%	3.3%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%
閉鎖	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.0%	1.9%
その他	1.6%	7.8%	3.5%	0.0%	3.0%	0.6%
<b>計</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

	全体		
	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	84.2%	53.7%	75.1%
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	11.6%	4.9%	9.6%
老人保健施設に転換	1.9%	30.5%	10.4%
その他の施設に転換	0.6%	3.2%	1.4%
閉鎖	0.1%	0.2%	0.1%
その他	1.5%	7.5%	3.3%
<b>計</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

## 5. 療養病床の維持、転換等について

※患者さんにとってのベストは何か、しかし経営的にはどうせざるを得ないかということに分けて質問した

### (2) 医療機関経営から考えた場合

#### 病床数

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	6,357	1,870	8,227	558	146	704
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	1,411	246	1,657	115	21	136
老人保健施設に転換	119	1,037	1,156	18	4	22
その他の施設に転換	0	109	109	12	0	12
閉鎖	44	32	76	64	37	101
その他	328	348	676	30	6	36
<b>計</b>	<b>8,259</b>	<b>3,642</b>	<b>11,901</b>	<b>797</b>	<b>214</b>	<b>1,011</b>

	全体		
	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	6,915	2,016	8,931
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	1,526	267	1,793
老人保健施設に転換	137	1,041	1,178
その他の施設に転換	12	109	121
閉鎖	108	69	177
その他	358	354	712
<b>計</b>	<b>9,056</b>	<b>3,856</b>	<b>12,912</b>

#### 構成比

	病院			有床診療所		
	医療療養	介護療養	計	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	77.0%	51.3%	69.1%	70.0%	68.2%	69.6%
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	17.1%	6.8%	13.9%	14.4%	9.8%	13.5%
老人保健施設に転換	1.4%	28.5%	9.7%	2.3%	1.9%	2.2%
その他の施設に転換	0.0%	3.0%	0.9%	1.5%	0.0%	1.2%
閉鎖	0.5%	0.9%	0.6%	8.0%	17.3%	10.0%
その他	4.0%	9.6%	5.7%	3.8%	2.8%	3.6%
<b>計</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

	病院		
	医療療養	介護療養	計
医療は医療療養病床として維持。介護は医療療養病床に転換。	76.4%	52.3%	69.2%
一般病床等、医療保険の他の病床に転換	16.9%	6.9%	13.9%
老人保健施設に転換	1.5%	27.0%	9.1%
その他の施設に転換	0.1%	2.8%	0.9%
閉鎖	1.2%	1.8%	1.4%
その他	4.0%	9.2%	5.5%
<b>計</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

## 6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

### (1) 性別・年齢階級別

患者数

		医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
一般病院	ADL区分3	120	111	142	373
	ADL区分2	226	114	29	369
	ADL区分1	502	141	15	658
	計	848	366	186	1,400
精神病院	ADL区分3	1	11	7	19
	ADL区分2	6	1	2	9
	ADL区分1	6	5	0	11
	計	13	17	9	39
有床診	ADL区分3	4	4	2	10
	ADL区分2	11	13	2	26
	ADL区分1	80	29	2	111
	計	95	46	6	147
計	ADL区分3	125	126	151	402
	ADL区分2	243	128	33	404
	ADL区分1	588	175	17	780
	計	956	429	201	1,586

構成比

		医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
一般病院	ADL区分3	32.2%	29.8%	38.1%	100.0%
	ADL区分2	61.2%	30.9%	7.9%	100.0%
	ADL区分1	76.3%	21.4%	2.3%	100.0%
	計	60.6%	26.1%	13.3%	100.0%
精神病院	ADL区分3	5.3%	57.9%	36.8%	100.0%
	ADL区分2	66.7%	11.1%	22.2%	100.0%
	ADL区分1	54.5%	45.5%	0.0%	100.0%
	計	33.3%	43.6%	23.1%	100.0%
有床診	ADL区分3	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
	ADL区分2	42.3%	50.0%	7.7%	100.0%
	ADL区分1	72.1%	26.1%	1.8%	100.0%
	計	64.6%	31.3%	4.1%	100.0%
計	ADL区分3	31.1%	31.3%	37.6%	100.0%
	ADL区分2	60.1%	31.7%	8.2%	100.0%
	ADL区分1	75.4%	22.4%	2.2%	100.0%
	計	60.3%	27.0%	12.7%	100.0%

6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

(2) 性別・年齢階級別

患者数

		65歳未満	65～70歳	70～75歳	75～80歳	80～85歳	85～90歳	90歳以上	不明・未記入	計
一般病院	男	106	50	76	95	98	73	60	8	566
	女	76	54	72	157	247	246	247	16	1,115
	計	182	104	148	252	345	319	307	24	1,681
精神病院	男	1	5	2	1	4	4	3		20
	女	4	0	3	3	6	3	6		25
	計	5	5	5	4	10	7	9	0	45
有床診	男	15	4	4	7	13	4	1	1	49
	女	20	11	7	14	24	21	22	2	121
	計	35	15	11	21	37	25	23	3	170
計	男	122	59	82	103	115	81	64	9	635
	女	100	65	82	174	277	270	275	18	1,261
	計	222	124	164	277	392	351	339	27	1,896

構成比

		65歳未満	65～70歳	70～75歳	75～80歳	80～85歳	85～90歳	90歳以上	不明・未記入	計
一般病院	男	18.7%	8.8%	13.4%	16.8%	17.3%	12.9%	10.6%	1.4%	100.0%
	女	6.8%	4.8%	6.5%	14.1%	22.2%	22.1%	22.2%	1.4%	100.0%
	計	10.8%	6.2%	8.8%	15.0%	20.5%	19.0%	18.3%	1.4%	100.0%
精神病院	男	5.0%	25.0%	10.0%	5.0%	20.0%	20.0%	15.0%	0.0%	100.0%
	女	16.0%	0.0%	12.0%	12.0%	24.0%	12.0%	24.0%	0.0%	100.0%
	計	11.1%	11.1%	11.1%	8.9%	22.2%	15.6%	20.0%	0.0%	100.0%
有床診	男	30.6%	8.2%	8.2%	14.3%	26.5%	8.2%	2.0%	2.0%	100.0%
	女	16.5%	9.1%	5.8%	11.6%	19.8%	17.4%	18.2%	1.7%	100.0%
	計	20.6%	8.8%	6.5%	12.4%	21.8%	14.7%	13.5%	1.8%	100.0%
計	男	19.2%	9.3%	12.9%	16.2%	18.1%	12.8%	10.1%	1.4%	100.0%
	女	7.9%	5.2%	6.5%	13.8%	22.0%	21.4%	21.8%	1.4%	100.0%
	計	11.7%	6.5%	8.6%	14.6%	20.7%	18.5%	17.9%	1.4%	100.0%

## 6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

(3) 性別・要介護度別・・・申請をしていないもの不明のものを除く

患者数

		要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
一般病院	男	12	46	43	43	50	61	255
	女	26	129	94	99	104	132	584
	計	38	175	137	142	154	193	839
精神病院	男		2	1		2	3	8
	女		3	4		1	4	12
	計	0	5	5	0	3	7	20
有床診	男	0	6	1	5	1	1	14
	女	4	8	3	5	5	4	29
	計	4	14	4	10	6	5	43
計	男	12	54	45	48	53	65	277
	女	30	140	101	104	110	140	625
	計	42	194	146	152	163	205	902

構成比

		要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
一般病院	男	4.7%	18.0%	16.9%	16.9%	19.6%	23.9%	100.0%
	女	4.5%	22.1%	16.1%	17.0%	17.8%	22.6%	100.0%
	計	4.5%	20.9%	16.3%	16.9%	18.4%	23.0%	100.0%
精神病院	男	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	37.5%	100.0%
	女	0.0%	25.0%	33.3%	0.0%	8.3%	33.3%	100.0%
	計	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	15.0%	35.0%	100.0%
有床診	男	0.0%	42.9%	7.1%	35.7%	7.1%	7.1%	100.0%
	女	13.8%	27.6%	10.3%	17.2%	17.2%	13.8%	100.0%
	計	9.3%	32.6%	9.3%	23.3%	14.0%	11.6%	100.0%
計	男	4.3%	19.5%	16.2%	17.3%	19.1%	23.5%	100.0%
	女	4.8%	22.4%	16.2%	16.6%	17.6%	22.4%	100.0%
	計	4.7%	21.5%	16.2%	16.9%	18.1%	22.7%	100.0%

## 6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

### (4) 性別・医療区分別

#### 患者数

		医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
一般病院	男	271	142	68	481
	女	597	241	120	958
	計	868	383	188	1,439
精神病院	男	6	5	5	16
	女	7	12	4	23
	計	13	17	9	39
有床診	男	28	16	3	47
	女	71	32	4	107
	計	99	48	7	154
計	男	305	163	76	544
	女	675	285	128	1,088
	計	980	448	204	1,632

#### 構成比

		医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
一般病院	男	56.3%	29.5%	14.1%	100.0%
	女	62.3%	25.2%	12.5%	100.0%
	計	60.3%	26.6%	13.1%	100.0%
精神病院	男	37.5%	31.3%	31.3%	100.0%
	女	30.4%	52.2%	17.4%	100.0%
	計	33.3%	43.6%	23.1%	100.0%
有床診	男	59.6%	34.0%	6.4%	100.0%
	女	66.4%	29.9%	3.7%	100.0%
	計	64.3%	31.2%	4.5%	100.0%
計	男	56.1%	30.0%	14.0%	100.0%
	女	62.0%	26.2%	11.8%	100.0%
	計	60.0%	27.5%	12.5%	100.0%

6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

(5) 性別・医療区分別・年齢階級別

		患者数				構成比			
		医療区分1	医療区分2	医療区分3	計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
男	65歳未満	67	27	6	100	67.0%	27.0%	6.0%	100.0%
	65～70歳	30	14	5	49	61.2%	28.6%	10.2%	100.0%
	70～75歳	38	21	15	74	51.4%	28.4%	20.3%	100.0%
	75～80歳	47	32	8	87	54.0%	36.8%	9.2%	100.0%
	80～85歳	58	29	15	102	56.9%	28.4%	14.7%	100.0%
	85～90歳	31	23	15	69	44.9%	33.3%	21.7%	100.0%
	90歳以上	30	16	10	56	53.6%	28.6%	17.9%	100.0%
	計	301	162	74	537	56.1%	30.2%	13.8%	100.0%
女	65歳未満	49	35	2	86	57.0%	40.7%	2.3%	100.0%
	65～70歳	43	8	7	58	74.1%	13.8%	12.1%	100.0%
	70～75歳	48	14	7	69	69.6%	20.3%	10.1%	100.0%
	75～80歳	97	42	15	154	63.0%	27.3%	9.7%	100.0%
	80～85歳	152	69	24	245	62.0%	28.2%	9.8%	100.0%
	85～90歳	150	52	25	227	66.1%	22.9%	11.0%	100.0%
	90歳以上	129	62	47	238	54.2%	26.1%	19.7%	100.0%
	計	668	282	127	1,077	62.0%	26.2%	11.8%	100.0%
計	65歳未満	116	62	8	186	62.4%	33.3%	4.3%	100.0%
	65～70歳	73	22	12	107	68.2%	20.6%	11.2%	100.0%
	70～75歳	86	35	22	143	60.1%	24.5%	15.4%	100.0%
	75～80歳	144	74	23	241	59.8%	30.7%	9.5%	100.0%
	80～85歳	210	98	39	347	60.5%	28.2%	11.2%	100.0%
	85～90歳	181	75	40	296	61.1%	25.3%	13.5%	100.0%
	90歳以上	159	78	57	294	54.1%	26.5%	19.4%	100.0%
	計	969	444	201	1,614	60.0%	27.5%	12.5%	100.0%

6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

(6) 性別・ADL別

患者数

		ADL1	ADL2	ADL3	計
一般病院	男	246	126	119	491
	女	438	256	262	956
	計	684	382	381	1,447
精神病院	男	3	5	9	17
	女	8	4	11	23
	計	11	9	20	40
有床診	男	36	7	1	44
	女	75	19	9	103
	計	111	26	10	147
計	男	285	138	129	552
	女	521	279	282	1,082
	計	806	417	411	1,634

構成比

		ADL1	ADL2	ADL3	計
一般病院	男	50.1%	25.7%	24.2%	100.0%
	女	45.8%	26.8%	27.4%	100.0%
	計	47.3%	26.4%	26.3%	100.0%
精神病院	男	17.6%	29.4%	52.9%	100.0%
	女	34.8%	17.4%	47.8%	100.0%
	計	27.5%	22.5%	50.0%	100.0%
有床診	男	81.8%	15.9%	2.3%	100.0%
	女	72.8%	18.4%	8.7%	100.0%
	計	75.5%	17.7%	6.8%	100.0%
計	男	51.6%	25.0%	23.4%	100.0%
	女	48.2%	25.8%	26.1%	100.0%
	計	49.3%	25.5%	25.2%	100.0%

## 6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

### (7) 性別・平均在院日数別

#### 患者数

		30日未満	30～90日	90～180日	180日～1年	1～2年	2年以上	計
一般病院	男	117	182	111	74	31	35	550
	女	198	353	212	122	64	122	1,071
	計	315	535	323	196	95	157	1,621
精神病院	男	4	2	2	3	2	7	20
	女	5	8	3	1	1	7	25
	計	9	10	5	4	3	14	45
有床診	男	18	20	3	1	1	0	43
	女	30	58	11	4	6	6	115
	計	48	78	14	5	7	6	158
計	男	139	204	116	78	34	42	613
	女	233	419	226	127	71	135	1,211
	計	372	623	342	205	105	177	1,824

#### 構成比

		30日未満	30～90日	90～180日	180日～1年	1～2年	2年以上	計
一般病院	男	21.3%	33.1%	20.2%	13.5%	5.6%	6.4%	100.0%
	女	18.5%	33.0%	19.8%	11.4%	6.0%	11.4%	100.0%
	計	19.4%	33.0%	19.9%	12.1%	5.9%	9.7%	100.0%
精神病院	男	20.0%	10.0%	10.0%	15.0%	10.0%	35.0%	100.0%
	女	20.0%	32.0%	12.0%	4.0%	4.0%	28.0%	100.0%
	計	20.0%	22.2%	11.1%	8.9%	6.7%	31.1%	100.0%
有床診	男	41.9%	46.5%	7.0%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%
	女	26.1%	50.4%	9.6%	3.5%	5.2%	5.2%	100.0%
	計	30.4%	49.4%	8.9%	3.2%	4.4%	3.8%	100.0%
計	男	22.7%	33.3%	18.9%	12.7%	5.5%	6.9%	100.0%
	女	19.2%	34.6%	18.7%	10.5%	5.9%	11.1%	100.0%
	計	20.4%	34.2%	18.8%	11.2%	5.8%	9.7%	100.0%

6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

(8) 性別・ADL別・医療区分別

患者数

		医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
男	ADL3	26	46	53	125
	ADL2	72	47	14	133
	ADL1	203	64	7	274
	計	301	157	74	532
女	ADL3	99	80	98	277
	ADL2	171	81	19	271
	ADL1	385	111	10	506
	計	655	272	127	1,054
計	ADL3	125	126	151	402
	ADL2	243	128	33	404
	ADL1	588	175	17	780
	計	956	429	201	1,586

構成比

		医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
男	ADL3	20.8%	36.8%	42.4%	100.0%
	ADL2	54.1%	35.3%	10.5%	100.0%
	ADL1	74.1%	23.4%	2.6%	100.0%
	計	56.6%	29.5%	13.9%	100.0%
女	ADL3	35.7%	28.9%	35.4%	100.0%
	ADL2	63.1%	29.9%	7.0%	100.0%
	ADL1	76.1%	21.9%	2.0%	100.0%
	計	62.1%	25.8%	12.0%	100.0%
計	ADL3	31.1%	31.3%	37.6%	100.0%
	ADL2	60.1%	31.7%	8.2%	100.0%
	ADL1	75.4%	22.4%	2.2%	100.0%
	計	60.3%	27.0%	12.7%	100.0%

6. 退院患者の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

(8) 医療区分別・年齢階級別・ADL

患者数

		ADL1	ADL2	ADL3	計
医療区分1	74歳以下	207	40	22	269
	75～84歳	222	84	39	345
	85歳以上	153	116	62	331
	計	582	240	123	945
医療区分2	74歳以下	70	25	19	114
	75～84歳	75	49	45	169
	85歳以上	27	54	62	143
	計	172	128	126	426
医療区分3	74歳以下	6	8	28	42
	75～84歳	6	13	40	59
	85歳以上	5	21	80	106
	計	17	42	148	207
計	74歳以下	283	73	69	425
	75～84歳	303	146	124	573
	85歳以上	185	191	204	580
	計	771	410	397	1,578

構成比

		ADL1	ADL2	ADL3	計
医療区分1	74歳以下	77.0%	14.9%	8.2%	100.0%
	75～84歳	64.3%	24.3%	11.3%	100.0%
	85歳以上	46.2%	35.0%	18.7%	100.0%
	計	61.6%	25.4%	13.0%	100.0%
医療区分2	74歳以下	61.4%	21.9%	16.7%	100.0%
	75～84歳	44.4%	29.0%	26.6%	100.0%
	85歳以上	18.9%	37.8%	43.4%	100.0%
	計	40.4%	30.0%	29.6%	100.0%
医療区分3	74歳以下	14.3%	19.0%	66.7%	100.0%
	75～84歳	10.2%	22.0%	67.8%	100.0%
	85歳以上	4.7%	19.8%	75.5%	100.0%
	計	8.2%	20.3%	71.5%	100.0%
計	74歳以下	66.6%	17.2%	16.2%	100.0%
	75～84歳	52.9%	25.5%	21.6%	100.0%
	85歳以上	31.9%	32.9%	35.2%	100.0%
	計	48.9%	26.0%	25.2%	100.0%

## 7. 転帰の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

### (1) 医療区分別

患者数

		自宅	老健・特養	他の病院・病棟	他の施設	死亡	その他・不明・未記入	計
一般病院	医療区分1	474	149	138	60	36	11	868
	医療区分2	124	60	111	23	58	7	383
	医療区分3	9	3	37	8	131		188
	計	607	212	286	91	225	18	1,439
精神病院	医療区分1	5	1	2	1	3	1	13
	医療区分2	3		4		5	5	17
	医療区分3	1		1		7		9
	計	9	1	7	1	15	6	39
有床診	医療区分1	80	3	8	5	2	1	99
	医療区分2	32	4	6	1	5		48
	医療区分3	2		1		4		7
	計	114	7	15	6	11	1	154
計	医療区分1	559	153	148	66	41	13	980
	医療区分2	159	64	121	24	68	12	448
	医療区分3	12	3	39	8	142	0	204
	計	730	220	308	98	251	25	1,632

構成比

		自宅	老健・特養	他の病院・病棟	他の施設	死亡	その他・不明・未記入	計
一般病院	医療区分1	54.6%	17.2%	15.9%	6.9%	4.1%	1.3%	100.0%
	医療区分2	32.4%	15.7%	29.0%	6.0%	15.1%	1.8%	100.0%
	医療区分3	4.8%	1.6%	19.7%	4.3%	69.7%	0.0%	100.0%
	計	42.2%	14.7%	19.9%	6.3%	15.6%	1.3%	100.0%
精神病院	医療区分1	38.5%	7.7%	15.4%	7.7%	23.1%	7.7%	100.0%
	医療区分2	17.6%	0.0%	23.5%	0.0%	29.4%	29.4%	100.0%
	医療区分3	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	77.8%	0.0%	100.0%
	計	23.1%	2.6%	17.9%	2.6%	38.5%	15.4%	100.0%
有床診	医療区分1	80.8%	3.0%	8.1%	5.1%	2.0%	1.0%	100.0%
	医療区分2	66.7%	8.3%	12.5%	2.1%	10.4%	0.0%	100.0%
	医療区分3	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	57.1%	0.0%	100.0%
	計	74.0%	4.5%	9.7%	3.9%	7.1%	0.6%	100.0%
計	医療区分1	57.0%	15.6%	15.1%	6.7%	4.2%	1.3%	100.0%
	医療区分2	35.5%	14.3%	27.0%	5.4%	15.2%	2.7%	100.0%
	医療区分3	5.9%	1.5%	19.1%	3.9%	69.6%	0.0%	100.0%
	計	44.7%	13.5%	18.9%	6.0%	15.4%	1.5%	100.0%

## 7. 転帰の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

### (1) 同居・独居別

患者数

		自宅	老健・特養	他の病院・ 病棟	他の施設	死亡	その他・不明・ 未記入	計
一般病院	同居	482	108	199	43	141	14	987
	独居	98	79	61	42	56	1	337
	計	580	187	260	85	197	15	1,324
精神病院	同居	6		5	1	10	4	26
	独居	3	1	2		5	2	13
	計	9	1	7	1	15	6	39
有床診	同居	78	3	8	1	5		95
	独居	29	3	4	2	3	1	42
	計	107	6	12	3	8	1	137
計	同居	566	111	212	45	156	18	1,108
	独居	130	83	67	44	64	4	392
	計	696	194	279	89	220	22	1,500

構成比

		自宅	老健・特養	他の病院・ 病棟	他の施設	死亡	その他・不明・ 未記入	計
一般病院	同居	48.8%	10.9%	20.2%	4.4%	14.3%	1.4%	100.0%
	独居	29.1%	23.4%	18.1%	12.5%	16.6%	0.3%	100.0%
	計	43.8%	14.1%	19.6%	6.4%	14.9%	1.1%	100.0%
精神病院	同居	23.1%	0.0%	19.2%	3.8%	38.5%	15.4%	100.0%
	独居	23.1%	7.7%	15.4%	0.0%	38.5%	15.4%	100.0%
	計	23.1%	2.6%	17.9%	2.6%	38.5%	15.4%	100.0%
有床診	同居	82.1%	3.2%	8.4%	1.1%	5.3%	0.0%	100.0%
	独居	69.0%	7.1%	9.5%	4.8%	7.1%	2.4%	100.0%
	計	78.1%	4.4%	8.8%	2.2%	5.8%	0.7%	100.0%
計	同居	51.1%	10.0%	19.1%	4.1%	14.1%	1.6%	100.0%
	独居	33.2%	21.2%	17.1%	11.2%	16.3%	1.0%	100.0%
	計	46.4%	12.9%	18.6%	5.9%	14.7%	1.5%	100.0%

\*他の施設には、老健・特養など、特段の記載がなかったものを含む

## 7. 転帰の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

### (2) 医療区分別・同居独居別

患者数

		自宅	老健・特養	他の病院・病棟	他の施設	死亡	その他・不明・未記入	計
医療区分1	同居	436	84	92	27	27	9	675
	独居	98	52	36	33	8	1	228
	計	534	136	128	60	35	10	903
医療区分2	同居	120	25	85	13	38	9	290
	独居	30	30	28	8	15	3	114
	計	150	55	113	21	53	12	404
医療区分3	同居	10	2	35	5	91	0	143
	独居	2	1	3	3	41	0	50
	計	12	3	38	8	132	0	193
計	同居	566	111	212	45	156	18	1,108
	独居	130	83	67	44	64	4	392
	計	696	194	279	89	220	22	1,500

構成比

		自宅	老健・特養	他の病院・病棟	他の施設	死亡	その他・不明・未記入	計
医療区分1	同居	64.6%	12.4%	13.6%	4.0%	4.0%	1.3%	100.0%
	独居	43.0%	22.8%	15.8%	14.5%	3.5%	0.4%	100.0%
	計	59.1%	15.1%	14.2%	6.6%	3.9%	1.1%	100.0%
医療区分2	同居	41.4%	8.6%	29.3%	4.5%	13.1%	3.1%	100.0%
	独居	26.3%	26.3%	24.6%	7.0%	13.2%	2.6%	100.0%
	計	37.1%	13.6%	28.0%	5.2%	13.1%	3.0%	100.0%
医療区分3	同居	7.0%	1.4%	24.5%	3.5%	63.6%	0.0%	100.0%
	独居	4.0%	2.0%	6.0%	6.0%	82.0%	0.0%	100.0%
	計	6.2%	1.6%	19.7%	4.1%	68.4%	0.0%	100.0%
計	同居	51.1%	10.0%	19.1%	4.1%	14.1%	1.6%	100.0%
	独居	33.2%	21.2%	17.1%	11.2%	16.3%	1.0%	100.0%
	計	46.4%	12.9%	18.6%	5.9%	14.7%	1.5%	100.0%

\*他の施設には、老健・特養など、特段の記載がなかったものを含む

### (3) 医療区分別老健・特養内訳

患者数

構成比

	老健	特養	他の施設	計	老健	特養	他の施設	計
医療区分1	115	38	66	219	52.5%	17.4%	30.1%	100.0%
医療区分2	51	13	24	88	58.0%	14.8%	27.3%	100.0%
医療区分3	2	1	8	11	18.2%	9.1%	72.7%	100.0%
計	168	52	98	318	52.8%	16.4%	30.8%	100.0%

## 7. 転帰の状況（2006年5月中に療養病床を退院した患者）

### (4) 医療区分別・医療介護別

患者数

		自宅	老健・特養	他の病院・病棟	他の施設	死亡	その他・不明・未記入	計
医療区分1	医療療養	506	129	125	61	24	12	857
	介護療養	36	12	18	3	16	1	86
	計	542	141	143	64	40	9	943
医療区分2	医療療養	151	59	104	24	44	9	391
	介護療養	7	5	13	0	23	3	51
	計	158	64	117	24	67	12	442
医療区分3	医療療養	12	2	29	7	117		167
	介護療養	0	1	9	1	22		33
	計	12	3	38	8	139	0	200
計	医療療養	669	190	258	92	185	21	1,415
	介護療養	43	18	40	4	61	4	170
	計	712	208	298	96	246	25	1,585

構成比

		自宅	老健・特養	他の病院・病棟	他の施設	死亡	その他・不明・未記入	計
医療区分1	医療療養	59.0%	15.1%	14.6%	7.1%	2.8%	1.4%	100.0%
	介護療養	41.9%	14.0%	20.9%	3.5%	18.6%	1.2%	100.0%
	計	57.5%	15.0%	15.2%	6.8%	4.2%	1.0%	99.6%
医療区分2	医療療養	38.6%	15.1%	26.6%	6.1%	11.3%	2.3%	100.0%
	介護療養	13.7%	9.8%	25.5%	0.0%	45.1%	5.9%	100.0%
	計	35.7%	14.5%	26.5%	5.4%	15.2%	2.7%	100.0%
医療区分3	医療療養	7.2%	1.2%	17.4%	4.2%	70.1%	0.0%	100.0%
	介護療養	0.0%	3.0%	27.3%	3.0%	66.7%	0.0%	100.0%
	計	6.0%	1.5%	19.0%	4.0%	69.5%	0.0%	100.0%
計	医療療養	47.3%	13.4%	18.2%	6.5%	13.1%	1.5%	100.0%
	介護療養	25.3%	10.6%	23.5%	2.4%	35.9%	2.4%	100.0%
	計	44.9%	13.1%	18.8%	6.1%	15.5%	1.6%	100.0%

\*他の施設には、老健・特養など、特段の記載がなかったものを含む